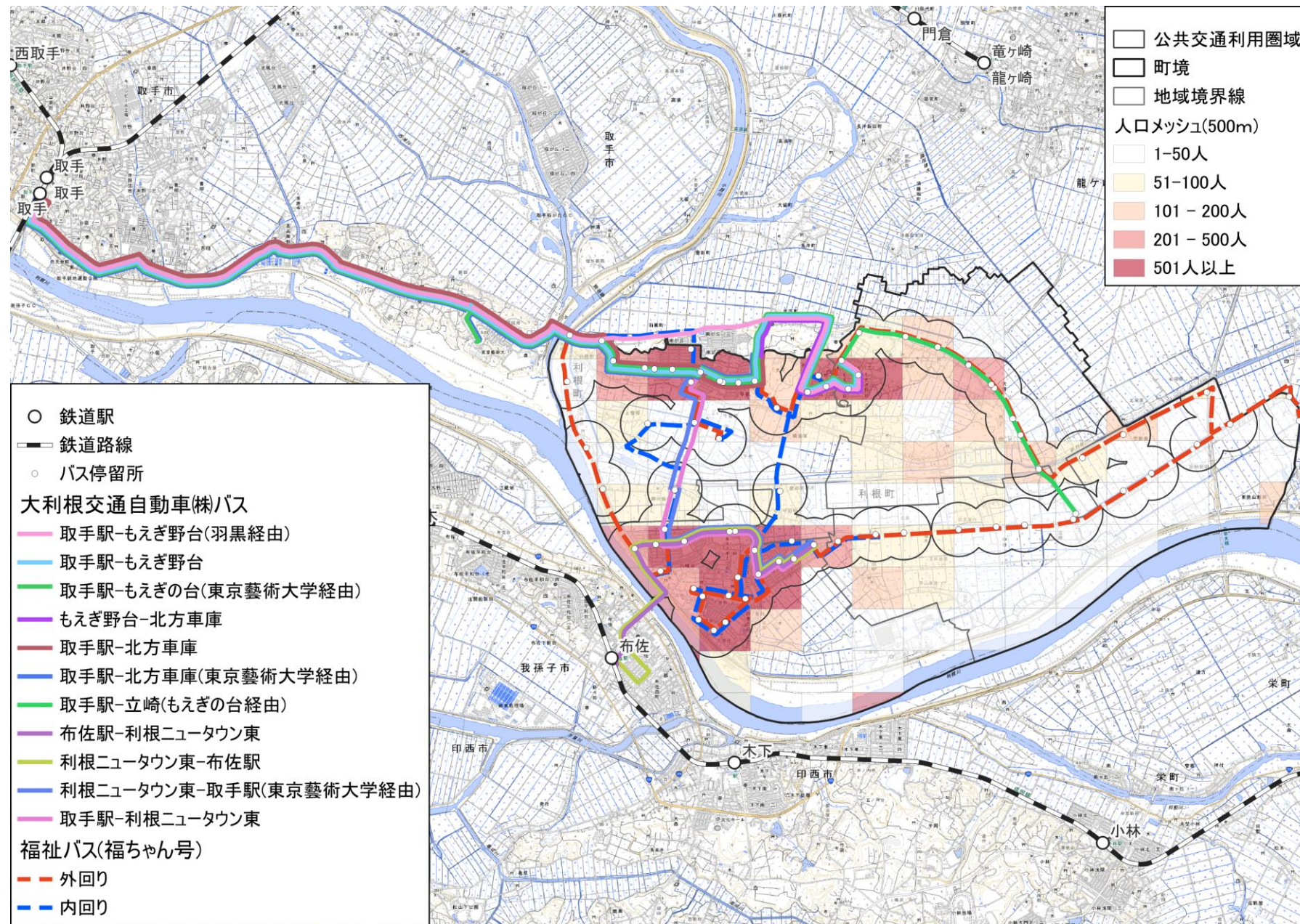


## 利根町地域公共交通を取り巻く現状と課題（現時点）



## ■人口動態に関する分析

- 令和4年1月の人口は約15,556人で今後も人口減少は続く見込みとなっており、令和27年には人口は約7,853人まで減少することが見込まれています。一方で、75歳以上の人口割合は、現在の21.2%から36.0%に上昇していくことが見込まれており、移動手段の確保が必要となる高齢者は、今後も増加する状況が続きます。

⇒移動手段の確保が必要となる高齢者などが利用しやすい移動手段の検討が必要となります。

## ■人口及び主要施設の分布に関する分析

- 人口は、町中心部である布川地区、羽野台団地や早尾台団地に人口集中が見られますが、周辺地域にも居住が見られます。
- 主要施設の立地状況は、布川地区に立地が多くなっているほか、商業施設、公共施設はまばらに点在しています。

⇒町内の各地区から町内の拠点へのアクセス確保に向けた検討が必要となります。

## ■人の動きに関する分析

- 外出目的や地区によって、生活圏が異なっており、利根町内の移動だけでなく、町外（取手市、龍ヶ崎市、千葉方面）への移動も見られます。

⇒町内の移動だけでなく、町外への移動に対応した公共交通網の検討が必要となります。

## ■地域公共交通の利用状況に関する分析

- 路線バスは、取手駅から羽根野台・フレッシュタウンを經由して、ニュータウン方面、北方車庫を經由してもえぎ野台・立崎方面へ、また、我孫子市布佐駅から利根町役場・フレッシュタウンを經由してニュータウン方面へ運行されています。
- 福祉バス（福ちゃん号）は、町役場や保健福祉センターなどの公共施設、町内の医療機関や金融機関・商業施設などの近くの停留所を循環しながら運行しています。2台の車両により2つのコースを運行しており、外回りコースは町内全域を内回りコースは主に文地区・布川地区を運行しています。
- ふれ愛タクシーは、自宅などから希望の目的地まで送り届けるデマンド型乗合タクシーです。3台の車両により、1号車は町内全域を、2号車は龍ヶ崎済生会病院/関東鉄道の竜ヶ崎駅を、3号車はJAとりで総合医療センターを最終目的地として運行しています。
- 広域の移動を担う役割が路線バス及びふれ愛タクシー、地域間及び地域内の移動を担う役割がふれ愛タクシー、福ちゃん号となっています。

⇒利用状況と利用者の改善ニーズを踏まえながら、路線バス、福ちゃん号、ふれ愛タクシー、タクシーとの役割分担、各公共交通の再編、新たな公共交通の導入検討、周辺市町の公共交通との連携など、持続可能で最適な地域公共交通網の検討が必要となります。

## ■地域公共交通に対する改善ニーズに関する分析

- 路線バスは、通勤、高齢者の買物の移動を支えています。
- ⇒各運行時間帯の運行本数の増加、鉄道やバスへの乗り継ぎのしやすさなど、ニーズが多様化しており、利用状況や交通事業者の意向なども踏まえながら対応を検討していくことが必要となります。
- 福祉バス（福ちゃん号）は、75歳以上の高齢者が多く、福ちゃん号以外の移動の選択肢が限定されている利用者が多くっており、買物や通院を支えています。
- ⇒運行本数の増加が求められており、有料化による再編、無料のままのルート再編（例えばルート短縮による本数増加）などの検討が必要となります。
- ふれ愛タクシーは、自動車を運転できない町民だけでなく、一部、普段、自動車を運転している町民も登録(利用)している可能性があり、通院や買物での移動を支えています。
- ⇒利用者は、一部で片道利用となっており、運行時間について、運行終了時間の延長や予約締切時間の短縮が求めており、今後、改善検討が必要となります。
- ⇒登録しているものの、利用していない要因として、利用方法がよくわからず、使いづらいとの回答が見られます。アンケートのサンプル数は少ないものの、利用方法（予約方法）の周知PRを図るとともに、予約締切時間の短縮について、検討が必要となります。